

実践10 外国語

単元名：Unit 5 Earthquake Drill (第2学年)

○ 教科の目標

学びに向かう力，人間性等
(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

○ 単元の目標

知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
(1) 防災に関する英文を読んだり聞いたりして理解し，情報を基に自分の考えなどを表現する技能を身に付ける。	(2) 防災に関する英文を読んだり聞いたりした情報を基に，非常時に取るべき行動を判断したり，状況に応じた行動や考えなどを表現することができる。	(3) 防災に関することについて，非常時に取るべき行動を判断したり相手の立場に立って考えなどを表現しようとしている。

○ 単元の評価規準（2領域）

「聞くこと」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①助動詞や命令文を用いた表現の特徴やきまりを理解している。 ②助動詞や命令文を用いた表現の理解とともに，スピーチやアナウンスなどで話された内容を捉える技能を身に付けている。	①防災に関する話やアナウンスなどで話された内容を理解し，情報を整理しながら聞き取ったり捉えたりしている。	①防災に関する話やアナウンスなどで話された内容を理解し，情報を整理しながら聞き取ったり捉えようとしている。

「話すこと [やりとり]」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①助動詞や命令文を用いた表現の特徴やきまりを理解している。 ②助動詞や命令文を用いた表現の理解とともに，防災について考えたことや感じたことを伝え合う技能を身に付けている。	①防災に関して読んだり聞いたりしたことについて，考えたこと，感じたことなどを引用したり，相手の考えなどを元に伝え合っている。	①防災に関して読んだり聞いたりしたことについて，考えたこと，感じたことなどを引用したり，相手の考えなどを元に伝え合おうとしている。

◎ キャリア教育の視点を踏まえた授業改善

評価規準に沿って、「聞くこと」と「話すこと [やりとり]」2領域のパフォーマンステストを設定する。単元始めに目標とパフォーマンステストの内容を確認し，自分の付けたい力を「未来シート」で設定，単元終了時には，パフォーマンステストのフィードバックとともに，学習過程を振り返る。単元全体を通して，パフォーマンステストにつなげる課題（Small Talk、グループ活動など）を設定する。

○ 指導と評価の計画（全10時間）

時間	☆本時の目標 ○学習内容	評価の観点と評価方法 ○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価
	○単元前リーディングテスト	

1	☆単元のゴールを理解し、目標を立てる。 ☆Part 1 のストーリーを理解し、音読できる。 ○Project Journal、「未来シート」の記入 ○身体のパーツの語彙を確認 (Activity: Simon Says) ○Listening 【指導の留意点】 ・教師の発問や生徒のつぶやきなどをつなぎ、単元への興味・関心を引き出す。	〔聞くこと〕○知①② 行動観察 ワークシート
2	☆地震が起きた時、しなければならないことを理解する。 ☆have(has) to の働きを理解する。 ☆Part 1 の内容理解 ○What do you have to do at home? 【指導の留意点】 ・防災マニュアルなどはシンプルな表現で書かれている、ということに気付かせる。	〔聞くこと〕○知①② 〔話すこと〕○知①② ○思① 行動観察 ワークシート
3	☆don't have to の定着と 3 人称の表現を理解する。 ☆防災マニュアルにある表現を理解する。 ○Small Talk 3 人で has to の表現の確認 drop / cover / hold on 【指導の留意点】 ・防災マニュアルはシンプルな表現で書かれていることに気付かせる。	〔話すこと〕○知①② ○思① ワークシート 行動観察
4	☆must / must not、命令文の表現のきまりを理解する。 ☆動作を表す表現を確認し、実際に行動できる。 ○Simon Says (前時での動作を表す表現を実際にする) 【指導の留意点】 ・Simon Says で間違えた生徒に罰ゲームなどをしない。 ・must と don't have to の違いに気を付けさせる。	〔聞くこと〕○知①② ○思① 〔話すこと〕○知①② ○思①
5	☆p67 Listening 災害時に取るべき行動について理解し、表にまとめる。 ○Small Talk: When typhoon comes, what do you and your family do? ○沖縄で初めて Typhoon を体験する外国人にアドバイスする。 【指導の留意点】 ・p67 の Listening では、Heavy Snow など生徒に馴染みのないものは写真などを使用してイメージを持たせる。	〔聞くこと〕○知①② ○思① 〔話すこと〕○知①② ○思① 行動観察 ワークシート
6	☆Emergency Bag に関する語句を理解する ☆p68 の内容を聞いて彼らが選んだものを聞き取る。 ○Pointing Game 聞き取ったアイテムを指さし ○Part 2 の内容理解 【指導の留意点】 ・語彙指導の工夫と次時の should を活用につなげる工夫。	〔聞くこと〕○知①② ○思① 〔話すこと〕○知①② ○思① 行動観察 ワークシート
7	☆should / shouldn't のきまりを理解し、活用できる。 ☆should / shouldn't を使った表現を聞いて、理解できる。 ○防災バックに入れるべきものをその理由を提案する。 ○アイテムと理由をマッチングし、表現を確認する。 【指導の留意点】 ・パフォーマンステストに向けて、重要な表現を習得する時間である。 ・理由を述べる時の表現を工夫する。	〔聞くこと〕○知①② 〔話すこと〕○知①② 行動観察 ワークシート
8	☆パフォーマンステスト①Listening 「聞くこと」 ○災害時に日本にいる外国人にとってどんなことが不便だと思うか、どのようなことができるか、を考える。 【指導の留意点】 ・リスニングテストの時間配分に留意する。	〔聞くこと〕 ◎知①② ◎思① ◎態① パフォーマンステスト

9	☆Discussion Phrase の確認と練習 ☆パフォーマンステスト②の内容を理解し、準備する。 ○グループ内やりとり活動（これまでの学習を確認する） ○ループリックとテストの流れを確認する。 【指導の留意点】 ・評価の方法やテストの受け方などを確認し、意識を高める。	〔聞くこと〕○知①② ○思① 〔話すこと〕○知①② ○思① 行動観察 ワークシート
10	☆パフォーマンステスト② 「話すこと〔やりとり〕」 ○3人1組で ALT/先生のところへ行き、テストを受ける。 ○残りの生徒はまとめの問題、未来シートの記入、振り返りを行う。	〔話すこと〕○知①② ○思① 行動観察 パフォーマンステスト
	○検証後リーディングテスト ○アンケート ○「未来シート」	

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方（パフォーマンステストの内容と分析）

2つのパフォーマンステストで、記録に残す評価としての「主体的に学習に取り組む態度」のループリックを示している。また北中城中学校で取り組んでいる Project Journal、「未来シート」の記述、行動観察などを補足的な評価材料とする。

「聞くこと」パフォーマンステスト①

Part 1	【知識・技能】 Ms. Brown が防災バッグに入れるものについて説明しています。それぞれどれを説明していますか。 （内容）教科書にある防災グッズの絵に、生徒たちが追加したアイテム等の絵を加え、英文で説明されたアイテムを選択する問題。（5問）
Part 2	【思考・判断・表現】 バングラデシュ人のアサドさんは日本に来て3年目のときに大きな地震を体験しました。アサドさんの話を聞いて話の流れに合うように A～E の絵を並べ替えましょう。 （内容）英文を聞き、絵を時系列に並べていく問題。既習の語彙を新しい状況の設定の中で聞きとり、内容を判断する。
Part 3	【主体的に学習に取り組む態度】 地震を体験したときのアサドさんの気持ちはどんなものだと思いますか。（1）～（4）の中から、あなたの考える彼らの気持ちを選び、その理由を日本語で書きなさい。 （1） He was angry. （2） He was nervous. （3） He was tired. （4） He was happy. （内容）聞いた内容を理解したうえで自分の考えを述べる。この段階では英語で表現することは求めず、記述内容から主体的に聞く活動に取り組んだかを見取る。

パフォーマンステスト①ループリック

	知識・技能 Part 1	思考・判断・表現 Part 2	主体的に学習に取り組む態度 Part 3
A	4～5 正解している。	正解している。	番号を選び、その理由を明確に書いている。
B	3 問正解している。	（ ） 2 つはあっている。	番号を選び、一応理由を書いている。
C	B 以下である。	B 以下である。	番号を選んだのみ、あるいは無回答

【パフォーマンステスト①の分析】

「主体的に学習に取り組む態度」については、若干予想を下回る結果となった。「思考・判断・表現」と連動した内容になっているので、「C 評価」の生徒が苦戦したと思われる。「聞くこと」の領域の「主体的に学習に取り組む態度」の評価は難しい部分ではあるが、「思考・判断・表現」での低評価の生徒も、「未来シート」の記述や行動観察などから、前向きに取り組んでいたことが見られたことは良かった。

知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
A	B	C	A	B	C	A	B	C
35.6	45.8	18.6	56.7	9.8	33.5	25.4	53.0	21.6



Simon Says で聞き取った動作を確認する様子

「話すこと [やりとり]」 パフォーマンステスト②

- 手順 1. テストは3人1グループで実施します。
2. 先生が順番を割り当てるので、会話の型（順番）にそって、やりとりをしてください。
3. ルーブリックをよく読んで理解しておくこと。

Part 1【知識・技能】

防災バッグを準備しようと思っています。それぞれ入れるべきだと思うアイテムを1つずつ挙げ、その理由を述べてください。 他のメンバーが話したことは話せません。

Part 2【思考・判断・表現】

先生が示す状況に応じて、さらに Item を追加しようと思います。グループの他のメンバーが話したことをよく聞いて、会話を続けてください。

【主体的に学習に取り組む態度】 Part 1,2 を総合的に評価する。

パフォーマンステスト②ルーブリック

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	ほぼ間違いはなく、Part 1 ができている。	ほぼ間違いはなく、Part 2 ができている。	他のメンバーに配慮しながら、やりとりをつづけるためにリーダー的な役割を担っている。
B	多少の間違いはあるが、Part 1 ができている。	多少の間違いはあるが、Part 2 ができている。	他のメンバーに同意するだけでなく、やりとりを続けようとしている。
C	B を満たしていない	B を満たしていない	B を満たしていない

【パフォーマンステスト②の分析】

「知識・技能」は授業内で学習したことの定着度を、「思考・判断・表現」は、その場で与えられた状況に応じて表現する力を見取る。「主体的に学習に取り組む態度」はやりとり全体の様子から評価する。全体的に3人で協働しながら取り組む姿が見られた。約 11% の生徒に課題が見られるが、これは「思考・判断・表現」の部分と連動していると思われる。指導の過程で、日々の活動とパフォーマンスの関連性をより意識させたい。

知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
A	B	C	A	B	C	A	B	C
65.1	30.1	4.8	39.7	45.9	14.4	47.9	40.4	11.6



第 10 時：3 人でパフォーマンステストに取り組む様子

◎ 実践の効果

生徒のアンケートより

単元目標を意識しながら授業をうけることができましたか。		パフォーマンステストはどうでしたか。	
そう思う	45.2 %	両方できた	40.0 %
どちらかといえばそう思う	41.3 %	「聞くこと」(リスニング) はできた	32.0 %
どちらかといえばそう思わない	7.9 %	「話すこと [やりとり]」 はできた	11.2 %
そう思わない	5.6 %	両方難しくてできなかった	16.8 %

「未来シート」の記述より（アルファベット表記は、生徒が選んだ「かふやみ 20 の力」）

- ・行動を振り返り、改善につなげる力が伸びた。（ふり返る力 C）
- ・グループの人に迷惑をかけたところもあったけど、自分のできないところがわかった。（みとおす力 S）
- ・テストのとき練習したことをきちんとやれた。（やりぬく力 D）
- ・かかわる力が伸びた。協力してできたから。

協力員からのコメント

M 多様な集団の中で他者とかがかわる力、O 発想（想像）する力、を選ぶと予測していたが、生徒たちはそれぞれ自分の目標を設定していた。また、目標以外に伸びたと思う力についても、それぞれよく考えてコメントしている。キャリア教育の視点を授業に加えることが有効であると感じた。